

令和5年度

「運営に関する計画」

大阪市立南港桜小学校

令和5年4月

大阪市立南港桜小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

グローバル化が進展し、様々なことが予測困難になるといわれている世界において、心豊かに力強く生き抜き多様な人々と協働して未来を切り拓くことができる力を獲得することが子どもたちの最善の利益である。

そのために、「安全で安心な教育環境」、すなわち「自分も人も大切にする学びあいの場」を醸成し「自ら考え、正しく判断し、進んで行動することに挑戦する生き抜く力を持った人を育む」ための教育活動を推進していく。

*

以前の本校においては、「命」「人との関わり」など「心の在り様」にかかる人権教育課題が多く見られた。そのため、一昨年度より人権教育の充実に取り組んできた。その結果として、不登校児童の減少につなげることができた。学校の目標「自分も人も大切にできている」と答える児童の割合も高く、関連する年度目標を概ね達成している。今後も目標を達成するためには、課題に対する初期対応を丁寧に行うなど継続した取組を行っていく。

昨年度の保護者アンケート「災害が起きたときにどう行動したらよいかわかっている」がこれまで同様、目標を下回っている。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策も緩和されていくことが予想されるため。災害時引き渡し訓練や、保護者・地域と連携して、災害時の行動について確認する学習を再開する。

本校では、障がいの有無や性や文化の多様性など、他者との違いを肯定的に受けとめ、共に学び、共に育ち、共に生きる教育を引き続き推進していく。そのことを通して、多様な在り方を相互に認め合える望ましい個と集団を育成していく。

**

これまで本校では、「学び合う子どもの育成」を通し、学力・体力の向上を図ってきた。学び合いは望ましい人間関係のもとで成り立つ教育活動である以上、望ましい人間関係によりもたらされる安全・安心な教育環境を今後も追求し続ける必要がある。

学力向上に関して、令和 4 年度の全市共通目標の 5 項目においては、小学校学力経年調査における標準化得点が、同一母集団で比較し、国語科では 5・6 年生が前年度より向上した。算数科においても 4 年生と 6 年生が前年度を上回る結果であった。しかし、どちらの教科も全学年という目標は達成できなかった。また、正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合も 4 年生と 6 年生では減少したが、全学年という目標は達成できなかった。正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合においても、令和 3 年度との比較において、どの学年も前年度を下回ってしまっている。引き続き改善のために、基礎・基本の徹底を重点においていた取組を進め、誰一人取り残さない学力の向上を図る必要がある。

学校の年度目標については、年度末の教育アンケート「授業はよくわかる」の問い合わせて、肯定的に答える児童の割合が目標値を 3 ポイント上回るなど、7 項目のうち 6 項目において目標を達成することができた。基礎・基本の指導を充実させる大切さを

認識できることによる授業改善を積み重ねた結果であり、今後も継続していく。

研究部を中心に教材分析、教材研究、指導計画、評価の在り方、学習指導要領の理解など基礎的な指導力向上を引き続き図ってきた。本校児童の学力を一層綿密に分析し、教育指導に活かしていく取り組みを継続するとともに、研修部を中心に本校教職員の実態にあった形での教職員研修を今後も進めていく。

7項目の年度目標のうち、唯一未達成であった体力向上に関する項目においては、今後も日常的に体力向上に繋がる取り組みの工夫を継続していく。それとともに体育部、健康教育部を中心に児童の健康や運動に対する意識、体力に関わる実態の把握に努め、学年間で系統性をもった学習活動を設定しながら、取り組みを進めていく。

「失敗を恐れずに、挑戦することができている」は、今後の社会で生きていくうえで必要になる力だと考えるので、できないことや苦手なことに、粘り強く取り組めない児童へのアプローチも継続して行っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の教育アンケートにおいて「学級や学年にいる多くの人とかかわり、伝えたいことを伝えられるなかまになっていることができている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。(R4 94%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて「学校は、子ども一人ひとりの個性を尊重し、個への指導を充実させ、個性を伸ばすように努めている」の保護者の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。(R4 92%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて「学校は、子どもの成長について、学校と家庭が互いに伝え合えるよう信頼関係の構築に努めている」の保護者の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。(R4 94%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて「学校は、学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通して、学校や子どもの様子をよくわかるようにしている」の保護者の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。(R4 95%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて「学校や家庭・地域などで、地震や津波などの災害が起きたときにどう行動したらよいかわかっている」の保護者の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。(R4 81%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。(R4 93%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて、「学校の授業などで、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。(R4 93%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて、「失敗を恐れずに、挑戦することができている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。(R4 90%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて、「運動場に出られる日は、すすんで、外で体を動かしている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。(R4 70%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて、「給食を好き嫌いせず残さず食べている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。(R4 93%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて、「ハンカチ・はなかみを持ち、正しく手洗いをしている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。(R4 93%)
- 令和7年度末の教育アンケートにおいて、「子どもは、自分で考えて、自分から動くことができている」の保護者の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。(R4 87%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 日常的に児童がICTを主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高め、主体的な学びを通じて育成される資質・能力を、円滑な学びの継続・保障につなげていくため学期に1回以上端末持ち帰りによる家庭学習を行う。
- 令和7年度末で、地域の人や学生などで学校支援ボランティア（読書・見守り・学習など）に参加する人数をのべ100人以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

- ① 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学級や学年にいる多くの人とかかわり、伝えたいことを伝えられるなかまになることができている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。(R4 63%)
- ② 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学校は、子ども一人ひとりの個性を尊重し、個への指導を充実させ、個性を伸ばすように努めている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。(R4 44%)
- ③ 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学校は、子どもの成長について、学校と家庭が互いに伝え合えるよう信頼関係の構築に努めている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。(R4 46%)
- ④ 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学校は、学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通して、学校や子どもの様子をよくわかるようにしている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。(R4 52%)
- ⑤ 令和5年度末の教育アンケートにおいて「お子さんは、災害が起きた時にどのように行動したら自分の身を守ることができますか」の問い合わせに対して肯定的な「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する保護者の割合を85%以上にする。(R4 81%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校の年度目標

- ① 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の問い合わせに対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。(R4 66%)
- ② 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「学校の授業などで、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っている」の問い合わせに対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。(R4 67%)
- ③ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「失敗を恐れずに、挑戦することができる」の問い合わせに対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。(R4 57%)
- ④ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「運動場に出られる日は、すすんで、外で体を動かしている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を80%以上にする。(R4 70%)
- ⑤ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「給食を好き嫌いせず残さず食べている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。(R4 71%)
- ⑥ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「ハンカチ・はなかみを持ち、正しく手洗いをしている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。(R4 61%)
- ⑦ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「子どもは、自分で考えて、自分から動くことができている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。(R4 35%)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ICTの活用を一層推進し、教職員もしくは児童が毎日ICTを活用する学習活動を設定する。
- ・会議や研修などを設定せず定時退勤を推奨する「ゆとりの日」を週1回設け、実施し、ライフワークバランスを図る。

学校の年度目標

- ① 日常的に児童がICTを主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高め、主体的な学びを通じて育成される資質・能力を、円滑な学びの継続・保障につなげていくため月に4回以上端末持ち帰りによる家庭学習を行う。
- ② 週に1回設定している「ゆとりの日」に定時退勤しやすい環境を整える。
- ③ 令和5年度末で、地域の人や学生などで学校支援ボランティア（読書・見守り・学習など）に参加する人数をのべ100人以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括



大阪市立南港桜小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <p>① 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学級や学年にいる多くの人とかかわり、伝えたいことを伝えられるなかまになることができている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。</p> <p>② 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学校は、子ども一人ひとりの個性を尊重し、個への指導を充実させ、個性を伸ばすように努めている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。</p> <p>③ 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学校は、子どもの成長について、学校と家庭が互いに伝え合えるよう信頼関係の構築に努めている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。</p> <p>④ 令和5年度末の教育アンケートにおいて「学校は、学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通して、学校や子どもの様子をよくわかるようにしている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。</p> <p>⑤ 令和5年度末の教育アンケートにおいて「お子さんは、災害が起きた時にどのように行動したら自分の身を守ることができるのかわかっている。」の問い合わせに対して肯定的な「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する保護者の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○いじめ・不登校アラートを設定し、生活指導部会兼いじめ・不登校対策委員会を毎月開催し、情報を共有しあいながら、個別対応ではなく学校全体で対応に当たるようにする。（ ）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1度の生活指導部会に「いじめ・不登校児童対策委員会」を設置し、各学年や学級の情報を共有する。 	

取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

○児童会活動で、児童が自主的に進める楽しく豊かな学校生活づくりを行う。児童が、異年齢集団による自発的で自治的な活動を通して学校生活の充実・向上を図ろうとする態度を育成する。

()

指標

- ・縦割り班活動で、「児童集会」「子どもフェスティバル」「あいさつ運動」「卒業生を送る会」などを、児童が自主的に運営を行う。

取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

○自然災害・不審者へのように対応するかについて、正しい知識をもち「自分の身は自分で守る」児童を育てる。そのために、生活指導部立案の「地震・津波避難訓練」「火災避難訓練」「不審者侵入避難訓練」「引き渡し訓練」「集団下校」を実施し、「防災・減災・安全教育」を行う。

()

指標

- ・生活指導部立案の「防災・減災・安全教育」を年間計画にしたがい実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立南港桜小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の問い合わせに対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。 ② 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「学校の授業などで、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っている」の問い合わせに対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。 ③ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「失敗を恐れずに、挑戦している」と問い合わせる「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。 ④ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「運動場に出られる日は、すんで、外で体を動かしている」の児童の「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を80%以上にする。 ⑤ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「給食を好き嫌いせず残さず食べている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。 ⑥ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「ハンカチ・はなかみを持ち、正しく手洗いをしている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を3ポイント以上増やす。 ⑦ 令和5年度末の教育アンケートにおいて、「子どもは、自分で考えて、自分から動くことができている」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○第3教育ブロックの事業内容「誰一人取り残さない学力の向上」において、コグトレを用いて基礎学力定着に向けた取組を行う。特に基礎的計算能力の向上を目指す。 () 指標 ・週1回以上のコグトレを行う。	
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 ○授業研究や一人一授業、メンター研修を計画的に行い、教員の資質向上を狙うとともに、学級担任、習熟度別担当、専科担当が連携して一人一人に応じた指導を行う。 () 指標 ・年に20回以上授業研究を行う。 ・研究・研修部を中心に、年に3回以上教職員研修を行う。	
取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 ○体育的行事や児童会活動等、体を動かすことの楽しさや心地よさを感じられる取り組みを計画・実施する。また、学年の発達に応じた運動遊びの取り組みや外遊びの啓発を行う。 () 指標 ・体育的行事や児童会活動を各学期1回以上実施する。	
取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 ○学年・学級の実態に応じて「給食だより」を活用した食に関する指導を実施する。また、給食を好き嫌いせず残さず食べられるように、給食週間の取り組みや残食調査等を計画・実施する。 () 指標 ・「給食だより」を活用した食に関する指導を毎月実施する。	
取組内容⑤【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 ○姿勢と健康についての理解を深め、よい姿勢ができるような取り組みを計画・実施する。 () 指標 ・自分の姿勢について振り返らせたり、よい姿勢に向けて実践したりする取り組みを各学期1回以上実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立南港桜小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT の活用を一層推進し、教職員もしくは児童が毎日 I C T を活用する学習活動を設定する。 ・会議や研修などを設定せず定時退勤を推奨する「ゆとりの日」を週 1 回設け、ライフケーストランスを図る。 <p>学校の年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日常的に児童が I C T を主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高め、主体的な学びを通じて育成される資質・能力を、円滑な学びの継続・保障につなげていくため月に 4 回以上端末持ち帰りによる家庭学習を行う。 ② 週に 1 回設定している「ゆとりの日」に定時退勤しやすい環境を整える。 ③ 令和 5 年度末で、地域の人や学生などで学校支援ボランティア（読書・見守り・学習など）に参加する人数をのべ 100 人以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>○日常的に児童が I C T を主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高め、主体的な学びを通じて育成される資質・能力を、円滑な学びの継続・保障につなげていく。（ ）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に 4 回以上端末持ち帰りによる家庭学習を行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○行事や会議の持ち方の工夫や見直しを進めることで、ゆとりの日に定時退勤しやすい環境を整える。（ ）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後に会議等にかける時間を、令和 4 年度より減少させる。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>○学年の教育活動の様子を学校ホームページで公開する。</p> <p>○読み聞かせ・図書室・見守り・図書室開放・学校行事等で、学校支援ボランティアなど地域人材を活用する。（ ）</p>	

指標

- ・令和5年度末の教育アンケートにおいて、「学校は、学校だより・学年だより・学校ホームページ等を通して、学校や子どもの様子をよくわかるようにしている。」の問い合わせに対して最も肯定的な「あてはまる」と回答する保護者の割合を3ポイント以上増やす（R4 52%）
- ・学校全体で年間のべ100人以上、学校支援ボランティアなど地域人材を活用する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点